

NEWS LETTER

2020年6月29日

一般財団法人岩手経済研究所

2020年夏季 岩手県内ボーナス調査について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋真裕）は、定例の「2020年夏季岩手県内ボーナス調査」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

2020年夏季ボーナスの増減予想

「増加」	14.8%	（前年調査比	6.3ポイント減）
「前年並み」	59.7%	（	8.4ポイント減）
「減少」	18.1%	（	9.2ポイント増）
「支給なし」	7.4%	（	5.5ポイント増）

（注）1. 「増加」は新卒者など前年に支給がなかった場合を含む

2. 「支給なし」は前年に支給があったが、今年の支給がない場合を指す

本調査の内容は別紙「2020年夏季岩手県内ボーナス調査」のとおりです。また、詳しくは2020年6月30日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究 2020年7月号（No.452）」にも掲載いたします。

2020年夏季岩手県内ボーナス調査

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕
(担当 地域経済調査部 佐藤 和孝)
TEL 019-622-1212

< 調査結果の要約 >

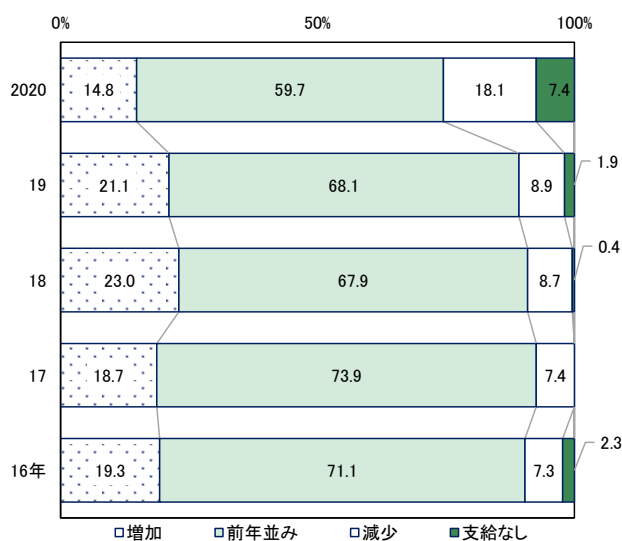
1. 夏季ボーナスアンケート調査

(1) 夏季ボーナスの受取予想 — 「減少」「支給なし」が上昇—

2020年夏季ボーナスの受取予想は「前年並み」の支給があるとする回答が59.7%（前年調査比8.4ポイント（以下、p）減）、「増加」が14.8%（同6.3p減）、「減少」が18.1%（同9.2p増）、「支給なし（※前年は支給あり）」が7.4%（同5.5p増）となった（図表1）。

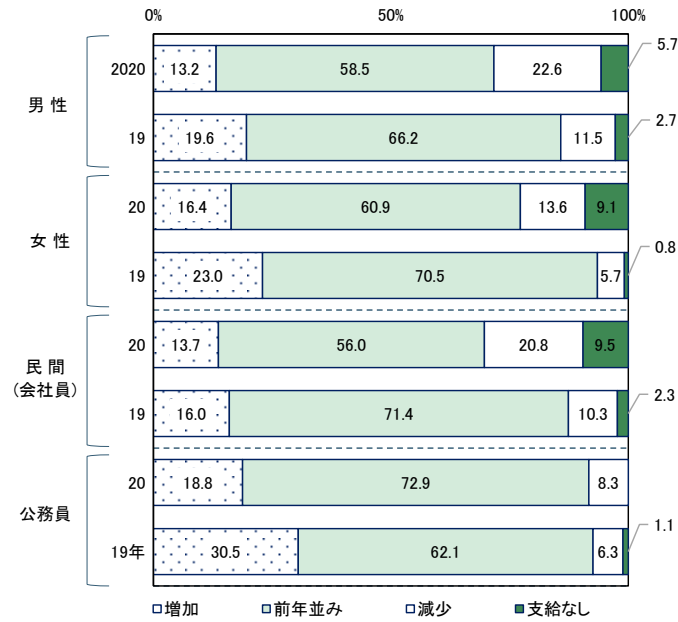
最近の県内経済は、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響などにより個人消費が低調となっているほか、生産活動も弱い動きが続くなど、全体として悪化している。今回調査のボーナス支給予想では、そういった県内の景気動向を反映して、やや厳しい見通しを示す回答者が増加したと考えられる。

図表1 夏季ボーナスの増減予想（全体、2016～20年）



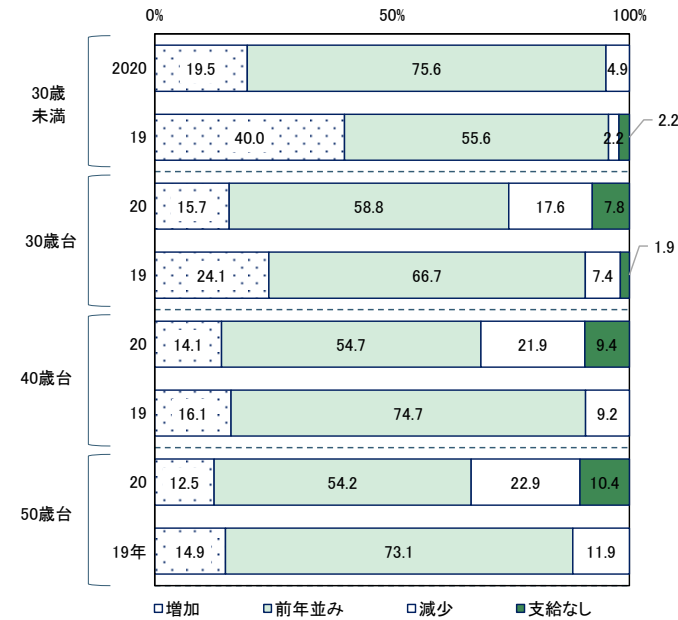
- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

参考1 夏季ボーナスの増減予想（性別・職業別、2019、20年）



- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

参考2 夏季ボーナスの増減予想（年齢階級別、2019、20年）



- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む
 3. 60歳以上は回答者が少ないため省略する
 4. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

(2) 使途 —消費マインドが減退—

ボーナス支給があると予想した回答者にその使途を「消費」「返済」「貯蓄・投資」に金額ベースで分配してもらった。

これによると全体では「貯蓄・投資」が45.8%（前年調査比5.9p増）で最も多く、次いで「消費」が32.7%（同4.9p減）、「返済」が21.5%（同1.0p減）となった（図表2）。

「消費」のうち買い物や教育費の割合は概ね前年並みとなったものの、新型コロナの影響による自粛ムードを反映して旅行等のレジャーや交際費が低下するなど、全体では消費マインドの減退が窺えるものとなり、そのマイナス分を「貯蓄・投資」が吸収する形となった。

図表2 夏季ボーナスの使途

単位：%、p

	全体		性別				独身・既婚別			
	前年比	前年比	男性		女性		独身		既婚	
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
消費 ↘	32.7	△ 4.9	31.7	△ 4.8	34.1	△ 5.6	38.8	9.1	30.7	△ 9.0
買い物	12.1	0.0	11.4	△ 0.6	13.0	0.9	18.0	7.6	10.1	△ 2.4
レジャー	2.2	△ 3.1	2.1	△ 1.0	2.5	△ 7.2	5.5	△ 3.1	1.2	△ 3.3
交際費	2.7	△ 2.8	3.1	△ 3.3	2.2	△ 1.8	3.7	△ 0.1	2.4	△ 3.6
教育費	8.0	0.6	7.8	△ 0.6	8.2	2.7	5.0	4.5	8.9	△ 0.3
その他	7.7	0.4	7.3	0.7	8.3	△ 0.2	6.7	0.1	8.1	0.6
返済 ↘	21.5	△ 1.0	26.5	△ 0.5	14.5	0.8	15.6	3.7	23.4	△ 1.9
住宅	8.2	△ 2.2	12.2	△ 1.4	2.6	△ 1.8	0.0	△ 2.2	10.9	△ 1.8
自動車	4.4	1.6	5.2	1.9	3.2	1.3	4.0	2.0	4.5	1.5
教育	0.5	△ 0.4	0.8	△ 0.6	0.1	0.1	0.0	△ 0.1	0.7	△ 0.5
クレジット	4.9	1.1	4.6	0.7	5.3	1.8	5.9	3.4	4.6	0.5
その他	3.5	△ 1.1	3.8	△ 1.2	3.2	△ 0.7	5.7	0.6	2.8	△ 1.6
貯蓄・投資 ↗	45.8	5.9	41.8	5.3	51.4	4.9	45.7	△ 12.8	45.8	10.9
回答者数	200人		100人		100人		61人		139人	

(注) 1. 回答者の支給予想額の合計を100%とした構成比

2. 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

2. 夏季ボーナス支給額推計 －支給総額はマイナス予想－

当研究所では県の「毎月勤労統計調査」などの各種統計を基に 2020 年夏季ボーナス支給総額の推計を行った。

推計の結果、民間（会社員）と公務員を合わせた支給総額は 1,158 億 3,900 万円で前年比 4.8%減の見通しとなった（**図表 3**）。

民間は同 6.9%減となった。雇用者数の減少基調は一服したものの、新型コロナの影響などで業況が悪化した企業において支給内容を下方に見直す動きが加速する可能性が高まることなどから、総額はマイナスを予想する。

一方、公務員は同 0.6%増となり、現状では支給率（月数）が前年実績以上の見通しであることなどを踏まえ微増を予想する。

図表 3 夏季ボーナス支給総額の推計結果

単位: 百万円、%

	合 計	民間	公務員
		(会社員)	
2020	115,839	82,363	33,476
前年比	△ 4.8	△ 6.9	0.6
19	121,736	88,459	33,277
前年比	0.5	△ 0.9	4.5
18 年	121,147	89,296	31,851
前年比	△ 1.0	△ 1.5	0.5

(注) 経年分は基となる指標の更新等に伴い再試算した

< 調査要領 >

1. 調査内容

県内の給与所得者における2020年夏季ボーナスの支給見通しや用途など

2. 調査期間

2020年4～5月

3. 調査対象者

県内の給与所得者

4. 調査方法

直接配布、郵送回答

5. 回答者数

239人（配布部数700部 回収率34.1%）

6. 回答者属性

		回答者数	構成比	平均年齢
		人	%	歳
全 体		239	100.0	42.2
性 別	男 性	118	49.4	42.6
	女 性	121	50.6	41.9
職 業 別	民間(会社員)	190	79.5	42.6
	公 務 員	49	20.5	40.9
独 身・ 既 婚 別	独 身	72	30.1	36.4
	既 婚	167	69.9	44.7
年 階 級 別	30 歳 未 満	44	18.4	-
	30 歳 台	55	23.0	-
	40 歳 台	69	28.9	-
	50 歳 台	57	23.8	-
	60 歳 以 上	14	5.9	-